

ポスト ナノカーボン科学の 黎明

2019年3月22日(金) 13:00-17:20

$$D(n) = \frac{1}{4n} \sum_{k=1}^n 2^{(n,k)} + \frac{1}{4n} \sum_{\substack{l=1 \\ 2|n/(n,l)}}^n 2^{(n,l)} + 2^{2^{\frac{n}{2}}}$$

ERATO磯部縮退π集積プロジェクト 最終成果報告会

東京大学 伊藤国際学術研究センター 伊藤謝恩ホール(本郷キャンパス)

主催 JST ERATO磯部縮退π集積プロジェクト
 協賛 日本化学会
 参加費 無料
 事前申込 不要
 お問い合わせ ERATO磯部縮退π集積プロジェクト事務局
 TEL: 03-5841-1473 E-mail: oinuma@chem.s.u-tokyo.ac.jp

- プログラム
- 13:00-13:20 開会挨拶ならびにプロジェクト概要
磯部 寛之(ERATO研究総括/東京大学)
 - 13:20-13:45 ポストナノカーボン分子の合成と新奇物性・機能の発現
佐藤 宗太(集積構造体グループリーダー/東京大学)
 - 13:45-14:10 ポストナノカーボン材料の有機電子デバイスへの応用
高 秀雄(デバイスグループリーダー/コニカミノルタ株式会社)
 - 14:10-14:55 特別招待講演
ありふれた分子への一工夫がもたらしたソフトマターにおける新現象
福島 孝典(東京工業大学 教授)
 - 14:55-15:15 休憩
 - 15:15-15:40 大環状分子のスピントロニクス応用
水上 成美(デバイスサブグループリーダー/東北大学)
 - 15:40-16:05 有機強相関デバイスとスピンフィルター
山本 浩史(強相関機能グループリーダー/分子科学研究所)
 - 16:05-16:30 縮退π電子系の物性理論
有田 亮太郎(理論交差グループリーダー/東京大学/理化学研究所)
 - 16:30-17:15 特別招待講演
単層カーボンナノチューブ実用化までの歩み：
新材料を世にだすとはどういうことか
畠 賢治(産業技術総合研究所 ナノチューブ実用化研究センター長)
 - 17:15-17:20 閉会挨拶
磯部 寛之



東京大学
THE UNIVERSITY OF TOKYO